



会報新年号



NO 153 2021年1月号

チェンライ日本人会発行

昨年1月に中国武漢で新型コロナウイルスが発生し、またたく間に全世界に広がり、日本では2月に横浜港にクルーズ船が入港して大騒動になりました。

3月には東京オリンピックが2021年7月に延期と決まりました。

また、選抜高校野球は中止となり、世界各地で多くのスポーツイベントが延期になりました。

コメディアン志村けんさんが新型コロナウイルスに感染して亡くられたのも記憶に新しいです。

世界各地で感染防止策として、非常事態宣言や自粛要請が発令されて日常生活が制限されるなか、6月にはアメリカで黒人差別に反対する抗議デモが発生し世界各地に拡大、8月には安倍首相が辞任、11月にはタイでは反政府集会、アメリカ大統領選挙でトランプ氏がバイデン氏に敗れるなどの動きがありました。

全世界の感染者は7984万人(12月26日時点)、日本は21万人、タイ国で6020人で、感染拡大は約一年になろうとしていますが一向に終息の兆しが見えません。

正に新型コロナで明けて、新型コロナで暮れる2020年となりました。

このような中、チェンライ日本人会としては一人の感染者も出すこと無く新年を迎えることが出来ましたことは何よりなことです。



2020年の会の活動としては、総会(7月実施)、バーベキュー大会(9月実施)、ビザ勉強会(10月実施)、遺族年金勉強会(10月&12月実施)、もちつき大会(12月実施)と、行うことが出来ました。

これも会員皆様のご協力があればこそ出来たことで、あらためて皆様方に感謝申し上げます。

一方、会員の高齢化で病気や日常生活などで悩みを抱えてておられる会員もおられます。

今後、会としてこのような問題にどのように対応していくべきか問われています。

従来のように、ただ単に行事をやれば良いでは済まされないと思います。

困っている人達にとって頼りになるような活動が望まれます。

従来の80歳以上の会員の自宅訪問に加えて、2021年は病気加療中の会員のお見舞いや悩み相談など、小さな親切で少しでも勇気を与えられるような活動を行っていきたいと思います。

みんなで助け合い、全ての会員が希望ある人生が送れるようにしたいと思います。

新年にあたり、皆様方の一層のご協力とご支援をお願いいたします。

会長 小杉 誠輝より

餅つき大会 無事開催

12月4日にチェンライ県で新型コロナウイルスの新たな感染者が発生して、開催が危ぶまれましたが、皆様方のご協力とご理解により無事開催でき終了することが出来ました。





『餅つき大会』収支報告

入場者数—会員及び家族 34名、一般 17名

材料費—餅米、あずき、黄な粉、盛り皿、割り箸、醤油、砂糖、ずんだなど 1345バーツ

(ずんだ、醤油、砂糖は伊藤会員の奥様より無料で提供していただきました)

会場費—テーブル、椅子、会場設営などの礼金として 1600バーツ

出店補助費—400バーツ 合計 3345バーツを会費より事業費として支出いたしました。

第2回『遺族年金勉強会』を実施

第1回目10月24日と第2回目12月26日（参加人数 会員20名、家族会員11名）実施いたしました。

会員の半数以上が年金生活者ということも有って皆様の関心も高く多くの参加がありました。

遺族年金の請求は、申請用紙の記入などが複雑で添付書類も多く、タイ人遺族にとっては大変に難解な作業です。

「遺族年金」とは、そもそものようなものなのか、ある程度の知識が有るのと無いのとでは手続きする場合の効率が違ってきます。

勉強会では、『年金受給者が死亡された時の手続き』『遺族年金受給後の手続き』などについて説明を受けました。

もしも、日本人がなくなった場合、何をすれば良いか、何が有るのか、生前に何をして置くべきかなどある程度理解出来たことでしょう。

会としては、遺族年金の請求業務全てを代行してあげる訳では有りませんが、遺族(タイ人)の方が速やかに遺族年金を継続的に受給できるように手助けを致します。

遺族の方からの依頼と承諾を原則とし、無報酬で日本人会が一致協力して行います。

(但し、郵送料、翻訳料など費用が生じた場合は実費とします)



今年こそ、もしも・・・に備えて、次の事をメモしておきましょう

- 自分の名前、生年月日、本籍地●年金手帳・預金通帳・キャッシュカード・パスポート・運転免許証などの保管場所●アレルギーや持病、常用薬などについて
- 延命治療を希望するかどうか●兄弟(姉妹)、友人の連絡先●葬儀について
- 遺影に使ってほしい写真や一緒に棺に納めてほしいもの
- 現金、預貯金、不動産、有価証券などの財産●加入している生命保険や受取人
- 借金●写真、手紙など●暗証番号やパスワードなど普段は伝えにくいような感謝の気持ちや懐かしい思い出など、家族に残しておきたいメッセージ

これらについては、信頼できる親族に伝えておき、大切に保管しておくといでしょう。

第46回ゴルフ愛好会コンペ

「ゴルフ愛好会」より

今年はコロナ禍等の影響で止む無く5回の休会をして、年末最後7回目の第46回定例会を忘年コンペと銘打って、新たに4賞(ノストラ／大法螺／大波／BG賞)を設けて12月13日(第二日曜日)@ハッピーシティーGCで行いました。

皆さん今年最後の腕試し！・運試し？・悪足掻き！？宜しく顔色を変えて(笑)、タフでトリッキーなコースに喜怒哀楽・艱難辛苦・七転八倒しながらも親睦第一！！スコアよりも健康優先！？の精神で挑みました(大汗)。

悪戦苦闘の末、見事に大法螺賞／優勝を飾ったのは百打繚乱？・百切悲願(苦)の此の方でした。そし

て、ノストラ賞／BG／準優勝／NPと賞金荒稼ぎの只今絶好調なのは、やはり熱い熱い此の方でした 



(大拍手)

プレーを終わってクラブハウス内で韓国料理に舌鼓(?)を打ち、入賞者の熱い弁(笑)に耳を傾けながら、来年度の会の運営・展開等を話し合い、最後に小杉会長の挨拶で散会となりました。

次回は新年ゴルフコンペ  として、改正HCの下で1月13日(第三日曜日)09:00スタートを予定し年明けに確認した上で、懷に優しい(!?)コースを選んで改めてアナウンスする予定です。

最後に、「ゴルフ川柳」を三句！？！ おそ松君  (大笑)

- ・エイジシュート ネットでも 叶わぬ夢 (悲笑)
- ・令和二年 明治の大砲 打ち続け (高笑)
- ・クラブ替え パター替えても 腕変わらず (諦笑)

宮川より



熱血賞金稼ぎ🔥💪🇯🇵💖

会員からの投稿

一寸五杯ードラフト・ビールとラガー・ビール 本生と生貯蔵酒の違い

先日バンドゥーの通称？バナナ街道に、日本人女性が日本食レストランを営んでおられるので、久しぶりにお邪魔して、通常の営業時間外まで飲食させていただきました。

ホタテの刺身は美味しかったですよ。

そこで、話題になったのが、「生酒」の話でして、意外にご存知でない方もおられるようなので、一寸五杯目として、投稿させていただきます。

生という名称で三種類も市場に出回っているのです。タイではバンコクのこだわり酒販店か居酒屋でない限り殆どは「生貯蔵酒」か「生詰め酒」しか飲めません。それは何故かです？

今、日本では「特定名称酒」と言われるジャンルの日本酒が人気です。その多くは「生酒」なんですね。「本生」と表示している蔵のお酒も見かけます。というのも「生貯蔵酒」や「生詰め酒」と紛らわしいので、あえて「本生」を強調しているのです。味が似て非なるからなんです。フレッシュさを売りにしている地酒は、生産者から消費者、すなわち酒蔵内で保存されている時から、愛飲家の口に入るまで、5℃以下を保持しているのです。それに比べると大手蔵のお酒はそんなことは担保されていないのです。ですから、仮にお酒を注文しようと店の冷蔵庫を見ると確かに冷やしているようですが、その時だけなんですね。もちろん日本からタイに輸送され、店頭に着くまでも保冷されていないのです。それだけなま酒は管理が悪いと味が劣化してしまいます。「火入れ」は低温殺菌牛乳と同じように65℃位に一度お酒の温度を上げて急冷する事で「良い菌も、悪い菌も」殺してしまうことなんです。

ビールでも、同じようなことが言え、例えばチェンライのナイトバザールにおいてビールサーバーで提供してくれるのはドラフト(生)・ビールで、フレッシュさが売りです。市販されている瓶ビール・缶ビールはラガー・ビールで、長期熟成と言っても1カ月程度ですが、熟成(濃く)させた後「低温殺菌」または「フィルター殺菌」したもので、長期間安定した味が保てるようにしているんですね。

投稿:成岡卓翁

情報 INFORMATION NEWS ข่าว



中部地区雑談会の開催について

2021年1月22日(金)10時から12時まで Japanese Restaurant「作」にて『雑談会』を行います。

参加希望者は1月20日まで、吉谷正昭 087-589-5877 までご連絡ください

在チェンマイ日本国総領事館より

新型コロナについて

2020年11月28日以降のチェンマイ領事館管轄9県における感染状況(12月20日時点)(注:いずれも感染が最終的に確認された県で計上しています)は、チェンマイ県 5名、チェンライ県 7名(チェンライ県で正規の国境検問を通過後、14日間の検疫隔離中に感染が確認されたものは計上していません。)パヤオ県 1名となっています。

引き続き関連情報に注意して、検温、マスクの着用、こまめな手洗いやアルコール消毒、人混みを避け、ソーシャルディスタンスを確保するなど感染予防策に努めてください。

チェンライ領事出張サービスについて

前回8月の領事出張サービス以降、11月に至るまで、北タイにおける新型コロナウイルス感染事例は確認されておりましたが、11月末になり、ミャンマー・タチレクで働いていたタイ人女性の不法帰国等により、新たな感染事例が確認されつつあります。

現時点で、タイ政府等のタイ国内における規制は敷かれておらず、県境を越えた移動やホテル施設の利用が行える状況にあることから、この度領事出張サービスのご案内をさせていただきます。

当館としましては、現在の状態が続いていく場合を想定し、予定通りチェンライ県において領事出張サービスを計画しておりますが、他方で、タイ政府等のタイ国内における規制がいつ行われるか予断を許さない状況にもあります。

もし、2月に入り再度タイ政府より規制強化が発表された場合は、今回の領事出張サービスを延期又は中止することもありますところ、在留邦人の皆様に於かれましては、予めご理解とご協力をお願い申し上げます。延期又は中止の場合は、改めてお知らせ致します。

● 日時

2021年2月20日(土) 08:30～12:00 及び 13:30～15:30

● 実施場所

WIANG INN HOTEL CHIANG RAI Chiang - Saen Room

【その他相談等】

その他相談等につきましては、当日ご足労いただかなくても電話でお答え出来る内容もありますところ、必ず事前に当館に電話をしていただき(1)お名前、(2)相談内容を伝えてください。その上で当日の相談をご希望される場合は、午前中は大変混雑しておりますところ、出来る限り午後に御来場いただきますようお願い致します。

● 会報に載せる原稿を募集しています。 投稿先 kosugiseiki_0721@yahoo.co.jp まで。よろしく！

